

平成 29 年 11 月 6 日  
四国電力株式会社

伊方発電所 3 号機 非常用ディーゼル発電機 3 B の手動停止について（続報）

定期検査中の伊方発電所 3 号機（加圧水型、定格電気出力 89 万キロワット）の原子炉補助建屋内（管理区域外）において、保安上の機能確認のため、非常用ディーゼル発電機 3 B を起動したところ、本日 14 時 29 分に燃料弁冷却水ポンプが自動停止したため、14 時 31 分に非常用ディーゼル発電機 3 B を手動停止しました。

現在、非常用ディーゼル発電機 3 A が定期検査における分解点検中であり、非常用ディーゼル発電機 3 B の運転停止により、保安規定に定める非常用電源を 2 系統確保する運転上の制限を満足できなくなりました。

本事象によるプラントへの影響および環境への放射能の影響はありません。

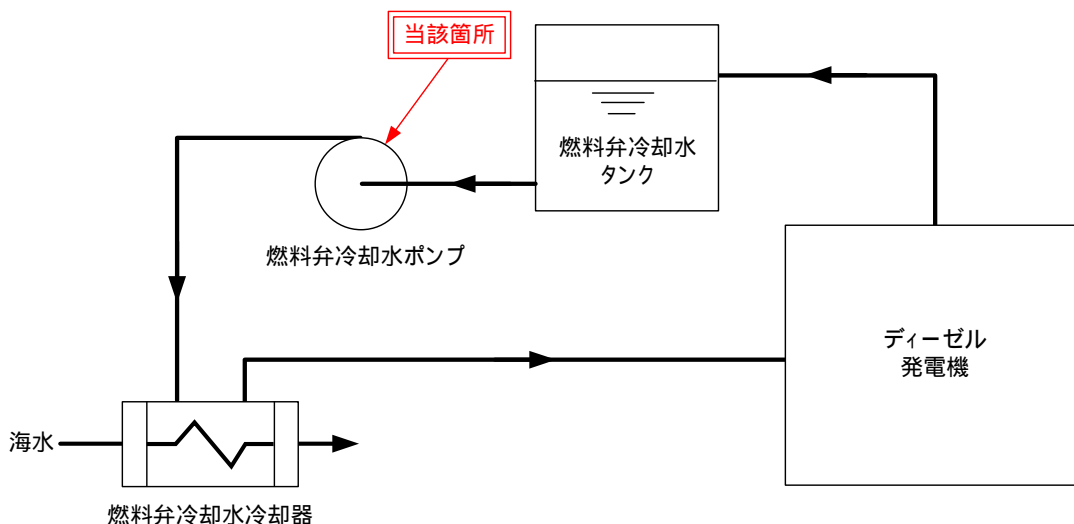
（本日、お知らせ済み）

現地を調査したところ、燃料弁冷却水ポンプの電源ケーブルに不具合箇所が確認され、これにより地絡し、自動停止に至ったものと推定しました。

その後、当該ケーブルについては、不具合箇所を切除して再接続し、非常用ディーゼル発電機 3 B の起動試験を行い、運転状態に問題ないことを確認しました。

これにより保安規定に定める非常用電源 2 系統が確保でき、20 時 40 分に運転上の制限を満足しました。

今後、原因を詳細調査します。



伊方発電所 3 号機ディーゼル発電機 3 B 燃料弁冷却水系統概略図

以上